



各イベントは大勢の来場者で賑わいました

桃源に遊ぶ心地や菖蒲園
阿仁の花しょうぶ祭り

初夏を彩る花しょうぶ祭りが、7月3日から17日までの日程で開催され、紫や白、ピンクなど色とりどりに咲き揃った菖蒲が県内外から訪れた人々を魅了しました。

今年は天候の影響もあって1週間ほど開花が遅れましたが、期間中は、カラオケ大会、歌謡ショーなどのイベントに家族連れや団体客が大勢訪れ、約6200人の来場者で賑わいました。

最終日には「しょうぶの俳句」発表会、「阿仁の花しょうぶ祭りカラオケ大会決勝戦」が行われました。

タイトルの「桃源に遊ぶ心地や菖蒲園」は「しょうぶの俳句」で北秋田市長賞を受賞した三浦謙蔵さん（阿仁水無）の作品です。

保健センター主催による「しょうぶウォーク」が、7月15日、阿仁荒瀬地内花しょうぶ園周辺を会場に、満開の花しょうぶを眺めながら3・5キロのコースを歩き、心地よい汗を流しました。

これは健康事業の一環として正しいウォーキング方法を身に付け、筋力低下の予防や心身のリフレッシュを図り、健康維持に役立てること等を目的としています。

講師の船木和子先生は「正しく歩くことでうつ病、動脈硬化、肥満が予防できる」などと、ジョークを交えて指導。参加者はリラックスしてウォークに臨む、花しょうぶの美しさに目を奪われながらも、予定の時間より早く完走出来満足そうでした。

歩くことで心身ともにリフレッシュ

「しょうぶウォーク」開催



満開の花しょうぶを眺めながらウォーキング

水泳は楽しいよ

合川プール水泳教室

合川プールの水泳教室が7月の毎週水曜日、小学1年生～4年生の初心者を対象に開催されました。この水泳教室は、たくさんの子どもたちに泳げるようになってもらおうと毎年開催しています。

今年の水泳教室には、19人が参加し、ばた足、息継ぎ、クロールとそれぞれのレベルに合わせて練習しました。今年プールは少し冷たかったようですが、みんな元気よく泳いでいました。

子どもたちに目標を聞くと「25メートル泳げるようになりたい」「水泳大会で1位になりたい」「きれいに泳げるようになりたい」と、目標に向かって一生懸命練習していました。



「泳げるようになるぞ！」

夏の夜空を彩る8千発の花火

第14回たかのす米代川花火大会

県内では最も早い時期に開催される恒例の「第14回たかのす米代川花火大会（鷹巣町観光協会主催）」が7月9日、米代川河川敷を会場に行われ、約2万5千人の観衆が光のショーに魅了されました。

今年は、北秋田市誕生記念として行われ、打ち上げられた花火は昨年より3千発多い8千発とこれまでの最大規模となりました。

午後7時の開会セレモニー後は、スターマインやナイアガラ、パンダやハートの形に開く花火、高野尻万灯火会の協力による「マトビ」の演出などで、2時間半にわたり、夜空と米代川の水面を彩りました。



昨年より3千発多い8千発が打ち上げられました



研修先の一つ、金田敬寛さん・悦子さん（写真中央）のきゅうり畑でがんばる研修生

北秋田の人はみんな親切です

中国の農業研修生が日本の農業を学習

中国の遼寧省と黒龍江省からの農業研修生が、合川地区で農業研修をしています。研修生を待っているのは、李文傑さん、陳宏偉さん、鄒方奎さん、林林さん、葛思軍さん、張周博さんの6人で、研修期間は6月から10月までの約4ヶ月間です。

研修生は、一々二人ずつ農家に分かれ、米づくり、野菜づくりなどを体験します。中国では各省庁の農業指導員や技術員で、日本の農業を学習するほか、日本の習慣や文化なども学習するそうです。

北秋田市の感想を聞くと「すごく緑が濃い」「みんなとても親切でやさしい」と答えてくれました。日本では研修のほか、花火大会や祭り、海水浴なども予定しているそうです。

健康なからだづくりは食習慣から

米小4年親子「ふれあい食体験事業」

米内沢小学校4年生親子レクリエーションとして「味な親子探健隊」が7月10日に森吉保健センターで開催されました。

これは市の「ふれあい食体験事業」の一環として、親子で日ごろの食習慣を見直しってもらうと初めて実施したものです。

内容は「母子で運動レクダンス」「味噌汁の味覚体験」そして、お父さん手づくりによる「栄養バイキング昼食」です。熱心に取り組む、味付けも申し分なく、子どもたちは、おいしいと何度もおかわりをしていました。

事前に実施したアンケートでは、おやつ、時間や内容に改善する点が見られ、親子で食習慣を考える良いきっかけとなったようです。



バイキング昼食をつくるお父さんたち